

## 堺 アルフォンス・ミュシャ館

### 企画展「ミュシャとパリの画塾」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、企画展「ミュシャとパリの画塾」を以下のとおり開催します。

若き日のミュシャは、1900年前後のパリの画塾を舞台に、国籍、性別、年齢、技術を問わないアトリエで、アカデミズムの巨匠に画を学びました。やがてポスターで脚光を浴び、装飾画家として活躍する一方、ミュシャが画塾で次世代にデッサンや構図を教えたことは、あまり知られていません。

本展では、自ら手を動かし画を語るミュシャの熱き指導や、ミュシャから直接指導を受けた日本人洋画家の作品を通して、教師・ミュシャの画論に触れることができます。

なお、見どころや展示構成、関連イベントなど詳細については別紙をご覧ください。

#### 1 展示会名

企画展「ミュシャとパリの画塾」

#### 2 日時

前期：令和5年12月2日（土）～令和6年2月4日（日）

後期：令和6年2月8日（木）～令和6年3月31日（日）

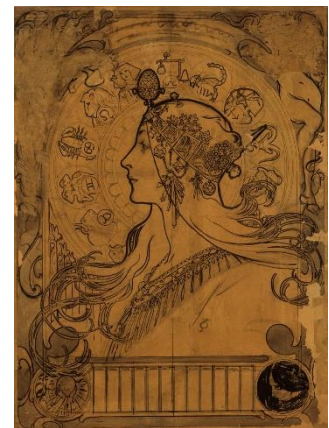
開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（休日の場合は開館）

年末年始（12月29日～1月4日）

休日の翌日（1月9日、2月13日、3月21日）

展示替臨時休館日（2月6日・7日）



《黄道十二宮（下絵）》

#### 3 場所

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

（堺市堺区田出井町 1-2-200 ベルマージュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線「堺市」駅

#### 4 観覧料

一般 510 円（410 円）、高校・大学生 310 円（250 円）、小・中学生 100 円（80 円）

\*（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金。

**【アルフォンス・ミュシャについて】**

19世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。

ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。

1900年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。

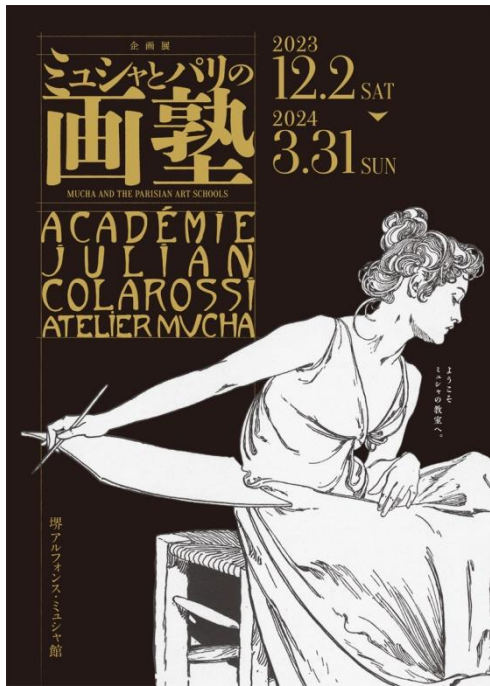
**【堺市とミュシャの関連について】**

堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 500 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）が収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。

また、堺で生まれ育った情熱の歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。

問 い 合 わ せ 先	（企画展について）
	担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興について）
	担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174



2023年12月2日(土) — 2024年3月31日(日)

ようこそ、ミュシャの教室へ。

## 概要

## 教師——画家のもうひとつの顔。

本展の舞台は1900年前後の、パリの画塾。  
国籍／性別／年齢／技術を問わないアトリエで、  
若き日のミュシャはアカデミズムの巨匠に画を学びました。  
やがてポスターで脚光を浴び、装飾画家として活躍する一方、  
ミュシャが画塾で次世代にデッサンや構図を教えたことは、あまり知られていません。  
生徒の中には、洋画を志す日本人留学生の姿もありました。  
自ら手を動かし画を語る、ミュシャの熱き指導。  
さあ、あなたも教師・ミュシャの画論に触れてみませんか。

展覧会名 企画展「ミュシャとパリの画塾」

会期 前期：2023年12月2日(土)から2024年2月4日(日)まで  
後期：2024年2月8日(木)から3月31日(日)まで

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（1月9日・2月13日・3月21日）、  
展示替臨時休館日（2月6日、2月7日）、年末年始（12月29日～1月4日）観覧料 一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円)  
\*（ ）は20人以上100人未満の団体料金

主催 公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館

協力 府中市美術館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、星野画廊、OGATAコレクション、  
一般社団法人太平洋美術会、京都府立図書館、堺市博物館お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：高原、原田、川口  
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館  
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116  
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶



見どころ

**【1】画学生／教師としての知られざるミュシャの姿を紹介**

ミュシャの修業時代、そしてあまり知られていない「教師」としての顔に注目します。貴重なデッサンや下絵を主役に、ポスターから油彩までパリ時代の多彩な作品をご紹介します。

**【2】ミュシャと師弟の再会がここに叶います**

ミュシャの師匠ジャン＝ポール・ローランスとラファエル・コランの油彩画を府中市美術館より特別出品。さらにミュシャから直接指導を受けた日本人洋画家の作品も集結。

**【3】名言×再現で『装飾資料集』を深掘り**

ミュシャ・スタイルの指南書的画集『装飾資料集』を、ミュシャが説いた言葉を手掛かりに読み解きます。またこの画集の活用法のひとつである「模写」の再現展示も。

**【4】「ミュシャと堺の意外な関係」を紐解きます**

エピローグでは「与謝野晶子とミュシャ風イラスト?」「吉田初三郎はミュシャの孫弟子?」「中村不折と堺のけし餅?」のトピックで、ミュシャと堺の関係性に注目します。

出品作家

**総数約100点！堺のミュシャ・コレクションのもとに、師弟の作品が集結**

- アルフォンス・ミュシャ (1860-1939)
- ミュシャの師でアカデミズムの巨匠
  - ・ジャン＝ポール・ローランス (1838-1921) ……フランス最後の歴史画家
  - ・ラファエル・コラン (1850-1916) ……光溢れる野原の甘美な裸婦像
- ミュシャが教えた日本人画家
  - ・鹿子木孟郎 (1874-1941) ……「太平洋画会」の重鎮。フランスの伝統絵画を日本に持ち帰った。
  - ・中村不折 (1866-1943) ……洋画と書道の両分野で大きな足跡を残した人物。
  - ・河合新蔵 (1867-1936) ……水彩画の黄金時代を担った画家。
  - ・和田英作 (1874-1959) ……「白馬会」の重鎮。東京美術学校の校長もつとめた。
- ミュシャの生徒の生徒
  - ・吉田初三郎 (1884-1955) ……「大正の広重」と呼ばれた鳥瞰図画家。堺市が一大コレクションを所蔵。

同時開催  
テーマ展示**ミュシャを実験的なまなざしで紹介するシリーズ展****ミュシャ Labo #04 文字**

演目名、商品名、キャッチコピー。ミュシャの商業ポスターには絵だけでなく、いろいろな文字が刻まれています。ミュシャが描いた個性豊かな文字の魅力に注目してみましょう。

関連  
イベント**①トークイベント「ミュシャと堺——こんなところにもミュシャの影」**

ミュシャが明治期の日本や堺ゆかりの画家に与えた影響について、堺市博物館と当館の学芸員が語ります。

日時：2024年1月21日（日）14：00～15:30（13:30開場）

登壇者：矢内一磨氏（堺市博物館学芸員）、高原茉莉奈（堺 アルフォンス・ミュシャ館学芸員）

定員：60名（申込不要、当日先着順）

参加費：無料

**②19世紀末パリ風アカデミックデッサン講座**

パステルを使って石膏像を立体的に描いてみましょう。

ヨーロッパでアカデミックな技法を学んだ画家が実演を交えてレクチャーします。

日時：2024年2月12日（月・祝）14：00～16:00

講師：永津照見氏（画家、アートデザインスクールito講師）

定員：12名（申込先着順、受付開始1/6 9:30～）

対象：中学生以上（初心者可）

参加費：1,500円（材料費）

※申込方法は当館HPをご確認ください。

**③学芸員によるスライド・トーク**

本展担当学芸員が本展の見どころを豊富な図版とともにレクチャーします。

日時：2023年12月17日（日）14：00～15:00（13:30開場）

定員：60名（申込不要、当日先着順）

参加費：無料

※イベント参加には本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です

※別途「学芸員による解説ツアー」も実施予定です。

※詳細は、堺 アルフォンス・ミュシャ館ホームページをご覧ください。随時更新を行います。

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：高原、原田、川口  
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館  
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116  
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶

